

卒業式の式辞

街角の梅の花が美しく咲き始め、木々の芽の膨らみに春の近づきを感じる季節になりました。

大阪府立成城高等学校 定時制の課程 第9回卒業式を、ご来賓並びに保護者の皆様に、お越しいただき挙行できますは、おおきな喜びであります。学校を代表いたしまして、こころよりお礼を申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんは、この成城高等学校の定時制の課程で学んできました。そして、卒業を迎え、ここに背を伸ばし、しっかり前を見て座っています。皆さんの輝いて誇らしい姿、とてもまぶしく感じます。

そして、今、卒業証書を渡しました。この卒業証書を見て、まずはこれまでよく頑張ってきた自分自身をほめてください。ほんとうによく頑張りました。そして、皆さんを支えてくれた、保護者の方、職場の仲間、周りの友達、そしてお世話になった先生方へ、ありがたい言葉、心からの感謝の気持ちや言葉を伝えて欲しいと思います。

この卒業は、皆さんにとって、ひとつの目標であり、夢だったことでしょう。この夢は実現しました。これからの皆さんの未来は続いていきます。未来の目標や夢の実現のために、これからも自分らしく、これまでのように歩みを続けてください。

さて、卒業を迎えた皆さんへ、私から、ふたつお話ししたいと思います。

一人ひとりの個性を大切に、その個性を伸ばしていく教育活動をしてきた成城高校の定時制ならではの言葉です。

金子みすずさんの「みんな違って、みんないい」という詩です。

わたしと小鳥と鈴と わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、とべる小鳥はわたしのよう、
じべたをはやくは走れない。
わたしがからだをゆすっても、きれいな音はでないけど、
あの鳴る鈴はわたしのよう
たくさんのうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい

金子みすずさんは、約100年前の明治時代の詩人です。

この詩は、私と小鳥と鈴が違うように、皆がそれぞれに個性を持ち、優劣などつけず、それぞれの個性をいかして、生きていくことの大切さをうたったものです。ゆっくり考えてみれば、あたりまえに思えることですが、私たちにとってはなかなか難しいことでしょう。それは、これまで生きてきて、人と

合わせる事が大切なことだと感じる場面が多かったからだと思います。そして競いあうことも多かったのではなかったでしょうか。これからも、優越感や劣等感を持つこと、楽しいこと辛いことに気持ちが浮き沈みすること、様々にあると思います。でも、そんな時に、この「みんな違って、みんないい」という言葉、そして成城高校で学んだことを思い出して、個性を大切に、自分の良さに気づき、自分を大切にしたいと思っています。それができれば、自分の周りの人の良さにも気づくことができるでしょう。これからは、自分を生かし、まわりのひとの良さや個性にも気づき、周りの人と協力し高めあって社会のなかで活躍してほしいと思います。この成城高校で学んだ皆さんなら、きっとできるはずですよ。

ふたつめは、自信を持ち、「上を向いて歩いて行って欲しい」ということです。

私は、皆さんとこの一年だけでしたが、成城高校で過ごしてきました。いろいろな行事がありましたが、そのなかで、今年の文化祭は、とても素晴らしい、皆さんにとって思い出に残る文化祭であったと思います。この文化祭の舞台上、軽音楽部の生徒が歌ってくれました。最後に、坂本九さんの「上を向いて歩こう」を合唱しました。この卒業式と同じこの体育館でした。生徒も先生も皆が声をそろえて「上を向いて歩こう」を歌った時には、なんて素晴らしい友情に包まれた学校なんだろうと感じ、私は少し、目頭が熱くなりました。この歌の歌詞では、「ひとりぼっちの夜」、という終わりかたですが、みなさんの成城高校の思い出の中には、ひとりぼっちではありません。成城高校の夜という素晴らしい思い出ができたと思います。夜の中に、白い校舎からの皆さんを照らす窓の明かりが見える。この成城高校の定時制で学んだ夜は、皆さんの思い出に刻まれていることでしょう。さあ、これからは上を向いて歩いてください。幸せはきっと見つけられます。そして、願えば夢は叶うものです。

もう一度繰り返します。「みんな違って、みんないい」。皆さん、自分を認め、周りの人を認め、そして今日感じているような感謝の気持ちを持って生きていってください。そして、「上を向いて歩いてください。幸せは見つけられます」

保護者の皆さん。関係者の皆さん。今日は誠におめでとうございます。ここに卒業式を迎えた、お子様の姿をご覧になって、感激もひとしおかと存じます。定時制高校で学び、定時制高校を卒業するという事は、簡単なことではなかったとっております。本人たちの努力もさることながら、皆さんに支えられ、励まされ、応援をいただきながらこうして卒業を迎えました。そして、保護者の皆様から本校の教育の推進にご理解とご協力を賜りましたことを、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

結びになりますが、ここに卒業を迎えた皆さんの門出を祝し、いまいちど、「おめでとう」の言葉を送り、校長の式辞といたします。

「卒業 おめでとう」

平成28年2月27日

成城高等学校 定時制の課程 富田公一